

統合場所を検討するに当たっての前提条件と視点・評価表

I 前提条件と視点

前提条件	幸町地区の統合校	
	(1) 一小・二小・四小の3校を同時に統合	(2) 平成25年4月に新設校として開校



II 評価表

評価項目		案1 統合場所:幸町第一小学校	案2 統合場所:幸町第二小学校	案3 統合場所:幸町第四小学校
特別支援教室 言語・聴覚・難聴	既存施設・設備の使用	不可能 要別棟改修	可能	不可能 要増築
	通級者の車によるアクセスの利便性	ない 別棟校舎まで入りにくい 別棟校舎周辺に駐車場がない	ある 別棟校舎まで入りやすい 別棟校舎周辺に駐車場がある	ない 学校まで入りにくい 駐車場が狭い
	通級者の負担	増える	変わらない	増える
通学距離の負担		中 1.4km圏内	中 1.4km圏内	少 1.1km圏内
校舎	校舎の形状による子どもの把握	しやすい 校長室から校庭が見える 一本型で廊下を一気に見通せる	しやすい 校長室から校庭が見える 一本型で廊下を一気に見通せる	しにくい 校長室から校庭が見えない コの字型で廊下を一気に見通せない
	必要教室数(31)	満たしている 保有教室数39	満たしている 保有教室数39	満たしていない 保有教室数18
	工事規模	大 耐震補強の必要箇所→多 老朽改修の必要箇所→多	中 耐震補強の必要箇所→多 老朽改修の必要箇所→少	大 耐震補強の必要箇所→少 老朽改修の必要箇所→多 増築工事→多
	工期	1年半 開校時は仮校舎でスタート	1年 仮校舎を使用せずに改修 (居ながら施工)する案もある	1年半 開校時は仮校舎でスタート
	引越しの負担	2回 ①統合前の学校→仮校舎 ②仮校舎→統合場所	1回 ①統合前の学校→統合場所 (居ながら施工を前提)	2回 ①統合前の学校→仮校舎 ②仮校舎→統合場所
	URとの協議	必要なし	必要なし	必要 協議に時間がかかると 統合スケジュールに影響
運動場	小学校設置基準	満たしている 6,980㎡(1人当たり14㎡)	満たしている 9,130㎡(1人当たり18㎡)	満たしている 増築前:8,274㎡(1人当たり17㎡) 増築後:6,274㎡(1人当たり13㎡)
	100m直線トラックの確保	可能 形状が整っている	可能 形状が整っている	増築前:可能 増築後:不可能 形状が整っていない
	校庭の水はけ	良い 整備(H17)6年目	良い 整備(H16)7年目	悪い 整備(H2)21年目
子どもルームの設置		あり	あり	なし

資料 2

幸町地区統合小学校の場所別整備内容等の比較(改修費はあくまで現時点での概算見積もりである。)

		案1				案2				案3				
整備内容	幸町第一小学校を統合校とする。	幸町第二小学校を統合校とする。				幸町第四小学校を統合校とする。								
	教室数に余裕あり(保有教室数39)	教室数に余裕あり(保有教室数39)				教室数に余裕なし A(必要教室数31)=(普通学級数18) +(知的・情緒3)+(言語・難聴8)+(予備2) B(実教室数17)=(保有教室数18)-(保健室1) ※増築すべき教室数14=A(31)-B(17)								
	幸町第二小学校の言語難聴児童用特別支援教室を幸町第一小学校別棟校舎を改修して移設する。	特別支援学級は同校の言語難聴児童用特別支援教室棟をそのまま使用する。				5年生、6年生の6教室を学校敷地内にプレハブ校舎で増築する。 幸町第二小学校の言語難聴児童用特別支援教室(8教室)を学校敷地内にプレハブ校舎で増築する。 校庭のうち、2,000㎡を使用して増築(2階建て2棟)								
通学距離(最長)	1.4km圏内				1.4km圏内				1.1km圏内					
統合校の児童数を500人とした時の児童1人当たりの校庭面積	14㎡		(校庭面積) 6,980㎡		18㎡		(校庭面積) 9,130㎡		13㎡		(校庭面積) 8,274㎡-2,000㎡		6,274㎡	
改修費(概算)	工期	1年半(仮校舎二小)				1年(仮校舎一小、または二小での居ながら施工も考えられる)				1年半(仮校舎二小)				
	耐震改修	校舎				校舎				校舎				
		①	②	③	屋内運動場	①	②	③	屋内運動場	①	②	③	屋内運動場	
	整備面積	3,234	1,825	1,546	752	3,036	1,818	1,386	757	1,952	1,685	1,197	784	
	耐震性	0.80(改修済)	0.35	0.56		1.00(改修済)	0.50	0.52		0.69	0.59	0.76	改修済	
	改修事業費(千円)	0	84,042	32,000	65,766	0	45,450	34,650	65,300	0	40,650	0	0	
	老朽改修	校舎				校舎				校舎				
	整備面積	3,234	1,825	1,546	752	3,036	1,818	1,386	757	1,952	1,685	1,197	784	
		大部分改修済	未改修	未改修	未改修	大部分改修済 給食室改修済	一部改修済	一部改修済	未改修	未改修	未改修	未改修	未改修	未改修
	改修事業費(千円)	91,199	102,930	113,353	38,052	34,247	71,775	54,720	38,305	110,093	114,041	67,511	39,671	
エレベータ	EV				EV				EV					
施設整備費(千円)	1				1				1					
その他の整備	30,000 ※言語難聴児童用特別支援施設(8教室)を幸町第一小学校の別棟に移設する。								110,000 ※6教室のプレハブ校舎増築					
	30,000								132,000 ※言語難聴児童用特別支援施設(8教室)を学校敷地内にプレハブ校舎で増築する。 } 2,000㎡使用					
改修事業費(千円)	30,000								242,000					
改修事業費(円)	5億9千7百万				3億8千4百万				6億5千4百万					
URからの借用地(所管・面積・地価)									路線価(幸町2-12) 校庭: 学校施設課 第二保育所: 保育支援課 児童老人福祉センター: 健全育成課、高齢施設課 ㎡当たり 135千円 8,274㎡ 2,099㎡ 720㎡ 1,116,990千円 283,365千円 97,200千円 合計 14億9千8百万					

		幸町第一小学校	幸町第二小学校	幸町第四小学校	
所在地	美浜区幸町2丁目17番4号	美浜区幸町2丁目9番4号	美浜区幸町2丁目12番12号		
最寄り駅と距離	京成みどり台(1,200m)	京成西登戸(1,000m)	京成みどり台(1,100m)		
開校年度	S44	S44	S52		
校地	校地面積(㎡)	16,288㎡	15,918㎡	15,527㎡ 校庭借用(都市再生機構)	
	校舎・校庭等の配置				
教育環境	延床面積(㎡)	6,419㎡	6,311㎡	4,508㎡	
		大規模改造年度	S61(外部) H1(内部) H7(CP室)	S62(外部) H1(内部) H12(内外部)	H7(CP室)
	耐震補強	補強必要	管理・特別・普通教室棟 [普通教室棟側1/3](0.35) 普通教室棟(0.56)	管理・特別・普通教室棟 [普通教室棟側1/3](0.52) 普通教室棟(0.50)	普通教室棟(0.59)
		補強不必要	管理・特別・普通教室棟 [体育館側2/3:H14補強](0.80)	管理・特別・普通教室棟 [体育館側2/3:H12補強](1.00)	特別教室棟(0.76) 特別・管理室棟(0.69)
	校舎	保有教室数	39	39	18
		普通教室として使用できる教室数	30	27	13
	教室	主な特別教室	図書室、絵本ルーム、第1・2音楽室、理科室、家庭科室、図工室、生活科室、資料室、コンピュータ室、視聴覚室、児童会室、多目的室、ランチルーム、研修室、夢工房、倉庫	図書室、音楽室、理科室、家庭科室、図工室、CAI室、視聴覚室、児童会室、学年学習室、多目的室、教育相談室、研修室、資料室、倉庫	図書室、音楽室、理科室、生活科室、家庭科室、図工室、コンピュータ室、視聴覚室、児童会室、多目的室、ランチルーム、学習室
		体育館	保有面積	757㎡	757㎡
	運動場	耐震補強	必要	必要	工事中
		面積	6,980㎡	9,130㎡	8,274㎡
整備年度	H17	H16	H2		
地域施設	育児	主に使用している子どもルーム	幸町第一小学校子どもルーム	幸町第二小学校子どもルーム	
	防災	避難所としての指定等	避難所に指定	避難所に指定、非常用井戸(ろ過浄水機等給水用資機材)設置	

本設プレハブ2階建(例)		
普通教室数	面積	
4	415.92㎡	
設計期間	建設工事期間	
約4か月	約3か月	
仕様	屋根	カラーガルバリウム鋼板
	外壁	窯業系サイディングボード
	外巾木	コンクリート打ち放し
		小荷物昇降機: 1台
		防球ネット: 有
	トイレ: 男×1(2F)、女×1(1F)	
	エアコン: 各教室×1ずつ	

